

平成 25 年度 決算 に 係 る  
定 期 監 査 調 書

平成 26 年 6 月

倉吉家畜保健衛生所

目 次

1	前年度指摘事項等に対する措置等	1 頁
	(1) 指摘事項	
	(2) 監査意見	
2	前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項に対する処理状況	1 頁
3	組織及び業務調べ	1 頁
4	職員の定員、現員調べ	1 頁
5	役付職員の調べ	1 頁
6	主な事業に関する調べ	2 頁
7	収入証紙取扱額調べ	4 頁
8	収入事務処理状況調べ	4 頁
	(1) 分担金及び負担金	
	(2) 使用料	
	(3) 手数料	
	(4) 財産収入	
	(5) 諸収入	
	(6) 現金の取扱状況	
9	収入未済額調べ	6 頁
10	未収金回収促進のための取り組み状況調べ	6 頁
11	不納欠損額調べ	6 頁
12	負担金、補助金、交付金及び委託料支出状況調べ	6 頁
	(1) 負担金	
	(2) 補助金	
	(3) 交付金	
	(4) 委託料	
13	工事請負費調べ	8 頁
14	財産に関する調べ	8 頁
	(1) 公有財産	
	(2) 金券類の受払状況	
15	財産の貸付及び使用許可調べ	10 頁
	(1) 土地及び建物	
	(2) 物品	
16	借受不動産明細調べ	10 頁
17	職員住宅及び職員駐車場の管理状況調べ	10 頁
	(1) 職員住宅	
	(2) 職員駐車場	
18	自動車（二輪を除く）の管理状況調べ	11 頁
19	寄附物件の受納状況調べ	11 頁
20	備品の処分状況調べ	11 頁
21	現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ	11 頁
22	事業別予算執行状況	12 頁
23	家畜保健衛生事業	12 頁
24	家畜病性鑑定事業	15 頁
25	意見、要望等	16 頁

1 前年度指摘事項等に対する措置等

- (1) 指摘事項 該当なし
- (2) 監査意見 該当なし

2 前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項（口頭指摘を含む。）に対する処理状況

該当なし

3 組織及び業務調べ

課 名	係（担当）名	課 の 主 な 所 掌 事 務
/	衛生指導担当	家畜保健衛生指導に関すること 獣医事に関すること 動物薬事に関すること 畜産振興に関すること
	防疫担当	家畜伝染病の防疫に関すること
	病性鑑定室	家畜の病性鑑定の特殊検査に関すること 牛海綿状脳症（BSE）に関すること

4 職員の定員、現員調べ

（平成26年6月1日現在）

種 別 区 分	事務職員		技術職員		現業職員		計		備 考
	当 該 年 度	25.4.1 現 在							
定 員	0	0	15	15	0	0	15	15	
現 員	(0) 0	(0) 0	(1) 15	(0) 15	(0) 0	(0) 0	(1) 15	(0) 15	産後休暇1名
過不足(△)	0	0	0	0	0	0	0	0	
臨時職員	0	0	0	0	0	0	0	0	
非常勤職員	1	1	2	2	3	4	6	7	事 務：1名 現業技術員：1名 ----- (死亡牛一時保管施設) 獣 医 師： 2名 畜産技術員：2名

5 役付職員の調べ

（平成26年6月1日現在）

職 名	氏 名	在 職 期 間	備 考
所 長	山里比呂志	3年 2月	継続勤務期間 4年2月
病性鑑定室長	山崎 浩一	年 2月	
次 長	野田 一臣	1年 2月	出納員
課 長 補 佐	森 利之	年 2月	
課 長 補 佐	岩尾 健	2年 2月	

6 主な事業に関する調べ

事業名	概要																											
<p>家畜伝染病予防事業</p> <p>決算額 10,895千円 (財源内訳) 国庫支出金 6,094千円 一般財源 2,913千円 その他 1,888千円</p> <p>○将来ビジョン I ひらく (4) 素材が良く、安全安心で美味しい食の魅力を提供する「食のみやこ鳥取県」の推進と、それにふさわしい農林水産業</p> <p>○政策項目 II 産業未来・雇用創造 3 「食のみやこ鳥取県」の確立</p>	<p>ア 目的及び事業の実施状況</p> <p>(ア) 目的 家畜の伝染病の発生を予防するための各種検査とまん延防止措置を行う。 また、牛海綿状脳症対策特別措置法に基づき、県内における24カ月齢以上の死亡牛に対するBSE検査を行う。</p> <p>(イ) 事業の実施状況</p> <p>○家畜伝染病の摘発 家畜伝染病(家畜伝染病予防法第2条): 4件 届出伝染病(家畜伝染病予防法第4条、同施行規則第2条): 28件</p> <p>○家畜伝染病予防法第5条に基づく告示検査</p> <table border="0"> <tr> <td>〈牛〉</td> <td>・ブルセラ病</td> <td>: 723頭</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・結核病</td> <td>: 1,384頭</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ヨネ病</td> <td>: 2,714頭</td> </tr> <tr> <td>〈馬〉</td> <td>・伝染性貧血</td> <td>: 3頭</td> </tr> <tr> <td>〈鶏〉</td> <td>・ニューカッスル病</td> <td>: 5,320羽</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ひな白痢</td> <td>: 5,320羽</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・マイコプラズマ病</td> <td>: 5,320羽</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・高病原性鳥インフルエンザ</td> <td>: 480羽</td> </tr> <tr> <td>〈蜜蜂〉</td> <td>・ふそ病</td> <td>: 47群</td> </tr> </table> <p>○死亡牛BSE検査 ・検査頭数: 458頭</p> <p>○家畜伝染病の侵入防止対策 ・口蹄疫: 勉強会 2回 ・高病原性鳥インフルエンザ: 防疫作業説明会 1回、防疫演習 1回</p> <p>イ 平成25年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・近隣諸国での口蹄疫、高病原性鳥インフルエンザの発生に伴い、焼却施設での焼却演習を実施し、手順の確認を行った。また当該演習を基に、中部総合事務所、市町、JA等との連携強化、迅速な情報共有体制の構築を図るとともに、防疫作業説明会を開催し、作業内容の周知を図った。</li> </ul> <p>ウ 成果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各種検査を実施し、家畜伝染病4件(豚日本脳炎)、届出伝染病28件(牛白血病20件、牛ウイルス性下痢症4件、豚丹毒1件、豚サルモネラ症1件、牛伝染性鼻気管炎1件、豚流行性下痢症1件)を摘発するとともに、発生農場に畜舎消毒、薬剤投与等を指示することでまん延を防止した。</li> <li>・死亡牛のBSE検査を実施し全ての陰性を確認することで、安全で安心できる畜産物生産体制構築の一助とした。</li> </ul> <p>エ 課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・家畜伝染病4件、届出伝染病28件の摘発があり、各種検査による監視の継続、伝染病の早期摘発、まん延防止を徹底、強化する必要がある。</li> <li>・口蹄疫、高病原性鳥インフルエンザの発生時に関係各所が防疫マニュアルに基づく的確な対応ができるよう防疫演習等による十分な準備が必要である。</li> <li>・畜産農家が飼育する家畜以外で、口蹄疫では羊や山羊、高病原性鳥インフルエンザでは愛玩鶏やアヒルなどが防疫措置の対象となるため、市町と連携して飼育者に対する指導を徹底する必要がある。</li> </ul>	〈牛〉	・ブルセラ病	: 723頭		・結核病	: 1,384頭		・ヨネ病	: 2,714頭	〈馬〉	・伝染性貧血	: 3頭	〈鶏〉	・ニューカッスル病	: 5,320羽		・ひな白痢	: 5,320羽		・マイコプラズマ病	: 5,320羽		・高病原性鳥インフルエンザ	: 480羽	〈蜜蜂〉	・ふそ病	: 47群
〈牛〉	・ブルセラ病	: 723頭																										
	・結核病	: 1,384頭																										
	・ヨネ病	: 2,714頭																										
〈馬〉	・伝染性貧血	: 3頭																										
〈鶏〉	・ニューカッスル病	: 5,320羽																										
	・ひな白痢	: 5,320羽																										
	・マイコプラズマ病	: 5,320羽																										
	・高病原性鳥インフルエンザ	: 480羽																										
〈蜜蜂〉	・ふそ病	: 47群																										

事業名	概	要
<p>家畜衛生対策事業</p> <p>決算見込額 12,017千円 (財源内訳) 国庫支出金 6,003千円 一般財源 6,001千円 その他 13千円</p> <p>○将来ビジョン I ひらく (4) 素材が良く、安全安心で美味しい食の魅力を提供する「食のみやこ鳥取県」の推進と、それにふさわしい農林水産業</p> <p>○政策項目 II 産業未来・雇用創造 3 「食のみやこ鳥取県」の確立</p>	<p>ア 目的及び事業の実施状況</p> <p>(ア) 目的 家畜衛生関連情報の収集と提供により、家畜衛生水準を維持、充実させるとともに、家畜の生産性を阻害する慢性疾病を排除し、生産性の改善と経営の安定を図る。また、動物用医薬品の使用、管理、流通の適正化を推進し、安全で安心できる畜産物の生産を指導する。</p> <p>(イ) 事業の実施状況</p> <p>○診断予防技術向上対策 全国規模で新しい診断技術を実証するための検査を実施した。 牛 9 戸 (68頭 牛ウイルス性下痢粘膜炎)</p> <p>○動物用医薬品危機管理 動物用医薬品の適正管理、流通及び使用について指導を行うとともに、動物用医薬品の品質検査を行い監視した。</p> <p>1) 生産農家での薬剤耐性菌検査 牛 6 戸 (6 検体)、豚 2 戸 (2 検体)、鶏 8 戸 (8 検体)</p> <p>2) 動物用医薬品品質検査 2 品目 (1 業者) について調査</p> <p>3) 動物用医薬品販売業者への立入検査 18 店舗を対象に検査</p> <p>○地域衛生管理対策 地域内の慢性疾病等の検査・指導を行うとともに、飼養管理状況の確認を行い、発生予防及びまん延防止に役立つ仕組みづくりを検討した。</p> <p>1) 飼養衛生管理基準等の確認・指導 本年度改正された飼養衛生管理基準の遵守状況の確認及び指導を行った。 牛 169 戸・豚 22 戸 計 191 戸</p> <p>2) 乳房炎・幼畜疾病対策 畜産経営に影響の大きい乳房炎、下痢症及び肺炎の監視検査を実施した。 乳牛 149 検体、牛 5 戸、豚 5 戸</p> <p>3) 養豚繁殖衛生の推進 豚の異常産、不妊に関わる伝染性疾病の監視検査を行った。 豚 5 戸</p> <p>○流通飼料対策 飼料安全法に基づき、飼料中に肉骨粉が含まれないことの確認検査を実施した。3 品目 (3 業者)</p> <p>イ 平成 25 年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点 ・診療獣医師の会する定例会で疾病についての勉強会を実施 (月 1 回)。</p> <p>ウ 成果 ・家畜衛生対策事業として病気の早期発見と迅速な対応、予防対策の徹底などに取り組み、慢性疾病を排除することで、農家には経済効果が得られたものとする。</p> <p>・動物用医薬品の適正管理、使用の指導は、安全で安心できる畜産物の生産体制構築の一助となっている。</p> <p>エ 課題 ・診断予防技術向上対策では、早期診断技術確立のために、引き続き、全国規模でのデータを蓄積し、検査精度の検証を行うことが必要である。</p> <p>・動物用医薬品危機管理対策、流通飼料対策では、畜産物の安全性を確保するため、今後とも監視体制を維持、充実させることが必要である。</p> <p>・地域衛生管理体制整備では、関係者が一体となって、経済的損失につながる病気の効果的な対処方法を広く普及、検証していく必要がある。</p>	

7 収入証紙取扱額調べ

(平成25年12月31日現在)

収入科目			件数	単価(円)	証紙はり付額(円)	備考
目	節	細節				
農林水産業 手数料	畜産業手数料	動物用医薬品販売業許可等手数料	1	11,000円	11,000	鳥取県手数料徴収条例第2条(53) 薬事法第24条第2項許可更新
			1	2,000円	2,000	鳥取県手数料徴収条例第2条(65) 薬事法施行令第45条第1項許可証の書換交付
	計(節)		2		13,000	
	目計		2		13,000	
合計			2		13,000	

8 収入事務処理状況調べ

(1) 分担金及び負担金

該当なし

(2) 使用料

(平成25年12月31日現在)

(単位:円)

収入科目			件数	調定金額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	根拠法令名等	備考
目	節	細節							
行政財産使 用料	行政財産使 用料		109	115,980	115,980				
		計(節)		109	115,980	115,980			
目計			109	115,980	115,980				
合計			109	115,980	115,980				

## (3) 手数料

(平成25年12月31日現在)  
(単位:円)

収入科目			件数	調定金額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	根拠法令名等	備考	
目	節	細節								
農林水産業 手数料	畜産業手数料	家畜防疫手数料 〈内訳〉	117件	1,645,360	1,645,360	0	0	鳥取県手数料 徴収条例		
		ヨーネ病(ELISA)	49 (1,507頭)	1,024,760			@680			
		結核病	33 (740頭)	177,600			@240			
		ブルセラ病	5 (519頭)	124,560			@240			
		家禽サルモネラ感染症	9 (3,670羽)	157,810			@43			
		マイコプラズマ病	9 (3,670羽)	157,810			@43			
		ふそ病	12 (47群)	2,820			@60			
		家畜保健衛生所手数料 〈内訳〉	2件	23,900	23,900	0	0		鳥取県家畜保 健衛生所の名 称、位置及び 管轄区域等を 定める条例	
		ヨーネ病(ELISA)	1 (5頭)	11,950			@2,390			
		牛ウイルス性下痢症	1 (5頭)	11,950			@2,390			
計(節)			119件	1,669,260	1,669,260	0	0			
目計			119件	1,669,260	1,669,260	0	0			
合計			119件	1,669,260	1,669,260	0	0			

(4) 財産収入 該当なし

(5) 諸収入 該当なし

(6) 現金の取扱状況

ア 現金取扱状況

(平成25年12月31日現在)  
(単位:円)

収入科目(節)	収入済額	備考
畜産業手数料	361,680	家畜防疫手数料 (76件)
	0	家畜保健衛生所手数料 (0件)
合計	361,680 (76件)	

イ つり銭の状況 該当なし

9 収入未済額調べ 該当なし

10 未収金回収促進のための取り組み状況調べ 該当なし

11 不納欠損額調べ 該当なし

12 負担金、補助金、交付金及び委託料移出状況調べ

(1) 負担金

(平成25年12月31日現在)

(単位：円)

予算科目 (目)	予算額令達額	負担金の名称	支出先	負担率	支出年月日	支出金額	支出の根拠法令名等 (規約、要領等を含む)	備考
家畜保健衛生費								
支出額が10万円未満のもの						10,000		倉吉地区安全運転運行管理者協議会
目計						10,000		
合計						10,000		

(2) 補助金 該当なし

(3) 交付金 該当なし

(4) 委託料

(平成25年12月31日現在) (単位:円)

予算科目 (目)	国補 単 県 の 別	委託料の名称	委託契約の 相手方	当初契約			入札等 年月日 (契約保証金 納付等年月日)	完了 年月日 履行検査 年月日	支出の状況			備考
				予定価格	(契約年月日) 契約額	契約 期間			支出 区分	支出 年月日	金額	
				変更契約(最終)			契約形態					
家畜保健衛生費	国補	産業廃棄物(汚泥)の収集運搬及び処理業務委託	三光(株)	50 60,000 (単価契約)	(25.5.21) 50 60,000 (単価契約)	25.5.21 ~ 26.3.31	25.5.15	25.5.30 外	精算	25.6.18 外	1,124,550	特別管理産業廃棄物(感染性汚泥)の収集運搬、処分が可能な業者
							随	25.6.12 外				
家畜保健衛生費	単県	ヒートポンプエアコン保守点検業務委託	(株)ヤマト 米子支店	346,920	(25.5.20) 346,500	25.5.20 ~ 25.7.31	25.5.13 (免除)	25.6.12	精算	25.6.28	346,500	特殊構造のため特約店に限定される。県内特約店は1社のみであるため
							随	25.6.25				
家畜保健衛生費	単県	マルチビーズシヨッカー保守点検業務委託	(有) 友田大洋堂	204,750	(25.8.19) 204,750	25.8.19 ~ 25.10.31	25.8.7 (免除)	25.9.2	精算	25.9.13	204,750	
							随	25.9.4				
家畜保健衛生費	単県	生物学用安全キャビネット保守点検業務委託	(有) 友田大洋堂	378,000	(25.8.19) 378,000	25.8.19 ~ 25.10.31	25.8.7 (免除)	25.9.20	精算	25.10.1	378,000	
							随	25.9.24				
家畜保健衛生費	単県	ガスクロマトグラフ保守点検業務委託	(有) 友田大洋堂	602,700	(25.10.8) 602,700	25.10.8 ~ 25.12.27	25.9.26 (免除)	25.11.19	精算	25.11.29	602,700	
							随	25.11.19				
家畜保健衛生費	単県	リアルタイムPCR保守点検業務委託	(有) 友田大洋堂	357,000	(25.11.5) 357,000	25.11.5 ~ 26.1.31	25.10.25 (免除)	26.11.22	精算	25.12.10	357,000	
							随	25.12.3				

予算科目 (目)	国補 単 の 別	委託料の名称	委託契約の 相手方	当 初 契 約			入札等 年月日	完 了 年月日	支 出 の 状 況			備 考
				予定価格	(契約年月日) 契 約 額	契 約 期 間			履行検査 年月日	支出 区分	支 出 年月日	
					変 更 契 約 ( 最 終 )			契 約 形 態				
					(契約年月日) 契 約 額	契 約 期 間						
予定価格が20万 円未満のもの												205,170
目 計											3,218,670	
合 計											3,218,670	

1 3 工事請負費調べ 該当なし

1 4 財産に関する調べ

(1) 公有財産

ア 土地

(平成25年12月31日現在)

行政・普通 財産の区分	機関名又は 施設名等	所 在 地	前 年 度 末		本 年 度 異 動 状 況						本 年 度 末		備 考
			面積 (㎡)	価額 (円)	増減 別	異動日	面積 (㎡)	価額 (円)	増減理由	登 記 年月日	面積 (㎡)	価額 (円)	
行政 財産	倉吉家畜保 健衛生所	倉吉市清谷町 二丁目131	146.00	6,935,000	増加	H				H	146.00	6,935,000	
					減少	H			H				
	倉吉家畜保 健衛生所	倉吉市清谷町 二丁目132	991.24	12,924,275	増加	H				H	991.24	12,924,275	
					減少	H			H				
倉吉家畜保 健衛生所	倉吉市清谷町 二丁目133	563.91	34,556,771	増加	H				H	563.91	34,556,771		
				減少	H			H					
計			1,701.15	54,416,046							1,701.15	54,416,046	
合 計			1,701.15	54,416,046							1,701.15	54,416,046	

イ 建物

(平成25年12月31日現在)

行政・普通 財産の区分	機関名又は 施設名等	所在地	前年度末		本年度異動状況						本年度末		備考
			面積 (㎡)	価額 (円)	増減 別	異動日	面積 (㎡)	価額 (円)	増減理由	登 記 年月日	面積 (㎡)	価額 (円)	
行政 財産	倉吉家畜保 健衛生所	倉吉市清谷町	1,176.89	451,155,600	増加	H				H	1,176.89	451,155,600	
		二丁目132			減少	H			H				
	倉吉家畜保 健衛生所	倉吉市清谷町	78.00		増加	H				H	78.00		
		二丁目132			減少	H			H				
	倉吉家畜保 健衛生所	倉吉市清谷町	58.00		増加	H				H	58.00		
		二丁目132			減少	H			H				
計			1,312.89	451,155,600						1,312.89	451,155,600		
合 計			1,312.89	451,155,600						1,312.89	451,155,600		

ウ 山林 該当なし  
 エ 動産（船舶、浮標、浮棧橋、浮ドック、航空機） 該当なし  
 オ 物権 該当なし  
 カ 無体財産権（特許権、著作権、商標権、実用新案権等） 該当なし  
 キ 有価証券 該当なし

(2) 金券類の受払状況

ア 金券の受払状況

(平成25年12月31日現在)

種 別	前年度末	本年度中		本年度末	備 考
		購 入 額	使 用 額		
郵便切手及び郵便はがき	34,960 <sup>円</sup>	24,000 <sup>円</sup>	30,550 <sup>円</sup>	28,410 <sup>円</sup>	
収入印紙					
収入証紙					
タクシークーポン券					
鉄道バスプリペイドカード					
合 計	34,960	24,000	30,550	28,410	

イ タクシーチケットの受払状況 該当なし

15 財産の貸付け及び使用許可調べ

(1) 土地及び建物

ア 土地 該当なし

イ 建物

(平成25年12月31日現在)

行政・普通財産の区分	貸付(使用許可)目的	所在地	数量又は面積	貸付(使用許可)年月日	当初貸付(使用許可)年月日	貸付(使用許可)期間	貸付(使用)料(円)		貸付(使用許可)先 住所名	備考
							単価 円・年額	本年度の貸付(使用)料		
行政財産	薬品冷蔵庫 設置場所	倉吉市清谷町 2丁目132	1.0㎡	H25.2.14	H22.1.18	H25.4.1 ~ H26.3.31		7,980	鳥取市末広温泉町723 (社)鳥取県畜産推進機構 会長 高見俊雄	
計								7,980		
合計								7,980		

(2) 物品 該当なし

16 借受不動産明細調べ 該当なし

17 職員住宅及び職員駐車場の管理状況調べ

(1) 職員住宅 該当なし

(2) 職員駐車場

ア 管理状況

財産の区分	所在地	1区画の面積(㎡)	貸付(使用)料(月額)(円)
行政財産	倉吉市清谷町二丁目132	10.81	1,000

イ 異動状況  
(行政財産)

(平成25年12月31日現在)

月別	前月末	当月減		当月増		当月末		調定額	収入済額	収入未済額
		うち減免		うち減免		うち減免				
4月	15人	2人	0人	4人	2人	17人	5人	12,000円	/	/
5月	17					17	5	12,000		
6月	17					17	5	12,000		
7月	17	1	0	1	0	17	5	12,000		
8月	17					17	5	12,000		
9月	17					17	5	12,000		
10月	17					17	5	12,000		
11月	17					17	5	12,000		
12月	17					17	5	12,000		
1月										
2月										
3月										
合計								108,000円		

- 18 自動車（二輪を除く）の管理状況調べ 該当なし
- 19 寄付物件の受納状況調べ 該当なし
- 20 備品の処分状況調べ 該当なし
- 21 現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ 該当なし

2.2 事業別予算執行状況調べ

目 名	家畜保健衛生費	(平成25年12月31日現在)
事業名	事業の概要(目的、実績等)	
家畜伝染病予防事業	「6 主な事業に関する調べに記載」	
家畜衛生対策事業	「6 主な事業に関する調べに記載」	
家畜保健衛生所管理運営事業	家畜保健衛生所の円滑な運営に要する経費 ・人件費 非常勤職員報酬、共済費 ・備品購入費 必要な検査機器、図書を購入 ・委託料 設備保守点検等委託経費 ・標準事務費 旅費、光熱水費、燃料費、役務費、消耗品費等 ・その他	

2.3 家畜保健衛生事業

(1) 管内家畜類の飼養状況調べ

家畜種別	平成25年2月1日		前年同期		備 考	
乳用牛	75戸	5,076頭	77戸	5,757頭	△ 2戸	△ 681頭
肉用牛	133戸	11,467頭	136戸	11,098頭	△ 3戸	369頭
豚	22戸	19,509頭	23戸	20,444頭	△ 1戸	△ 935頭
採卵鶏	12戸	109,935羽	13戸	135,391羽	△ 1戸	△ 25,456羽
ブロイラー	22戸	1,865,033羽	22戸	1,398,258羽	0戸	466,775羽

(2) 各事業別の実施状況調べ

(平成25年12月31日現在)

事業別	業務内容	実施方法	実施期間	実施区域	計画数量	実績数量	備 考
家畜伝染病予防事業	ブルセラ病	検査	4月～12月	管内一円	480頭	585頭	鳥取県手数料徴収条例第3及び鳥取県畜産関係手数料減免要綱2条による免除27頭を含む
	結核病	〃	〃	〃	1,150頭	1,155頭	鳥取県手数料徴収条例第3及び鳥取県畜産関係手数料減免要綱2条による免除376頭を含む
	コネ病(ELISA)	〃	〃	〃	2,110頭	2,224頭	鳥取県手数料徴収条例第3及び鳥取県畜産関係手数料減免要綱2条による免除448頭 家畜伝染病予防法第51条による検査269頭を含む
	牛伝染性疾病	〃	〃	〃	15,000頭	14,682頭	
	豚伝染性疾病	〃	〃	〃	21,000頭	42,260頭	
	鶏伝染性疾病	〃	〃	〃	153,000羽	375,000羽	
	馬伝染性疾病	〃	〃	〃	13頭	0頭	

事業別	業務内容	実施方法	実施期間	実施区域	計画数量	実績数量	備考
家畜伝染病予防事業	めん山羊伝染性疾病	検査	4月～12月	管内一円	30頭	0頭	
	ひな白痢	〃	〃	〃	3,500羽	3,670羽	
	マイコプラズマ病	〃	〃	〃	3,500羽	3,670羽	
	ニューカッスル病	〃	〃	〃	5,000羽	3,670羽	種鶏3,670羽
	ふそ病	〃	9月	〃	100群	47群	
	アパネ病等	〃	6月～11月	〃	72頭	88頭	
	牛ウイルス性下痢・粘膜病	〃	4月～12月	〃	77頭	87頭	
	牛サルモネラ	〃	〃	〃	100頭	176頭	
	牛白血病	〃	〃	〃	1,230頭	1,268頭	
	馬伝染性貧血	〃	〃	〃	5頭	3頭	鳥取県手数料徴収条例第3及び鳥取県畜産関係手数料減免要綱2条による免除3頭を含む
	オースキー病	〃	〃	〃	550頭	376頭	
	豚コレラ抗体	〃	〃	〃	295頭	221頭	
	豚コレラ症	〃	〃	〃	100頭	596頭	
	PRRS抗体	〃	〃	〃	295頭	248頭	
	豚流行性下痢	〃	〃	〃	295頭	279頭	
	鳥インフルエンザ	〃	〃	〃	360羽	360羽	
	鶏コレラ症	〃	〃	〃	35戸	35戸	
	ブルセラ病	証明	〃	〃	—	2件・20頭	鳥取県手数料徴収条例第3及び鳥取県畜産関係手数料減免要綱2条による免除20頭を含む
	結核病	〃	〃	〃	—	2件・20頭	鳥取県手数料徴収条例第3及び鳥取県畜産関係手数料減免要綱2条による免除20頭を含む
	ヨネ病	〃	〃	〃	—	2件・20頭	鳥取県手数料徴収条例第3及び鳥取県畜産関係手数料減免要綱2条による免除20頭を含む
死亡牛BSE検査	検査	〃	県内	440頭	346頭		
種畜検査(牛)	〃	〃	管内一円	—	39頭	鳥取県手数料徴収条例第3及び鳥取県畜産関係手数料減免要綱2条による免除39頭を含む	
病性鑑定	〃	〃	〃	—	756件		

事業別	業務内容		実施方法	実施期間	実施区域	計画数量	実績数量	備考
家畜衛生対策事業	診断予防技術向上		検査指導	4月～3月	管内一円	1戸・20頭	3戸・27頭	牛ウイルス性下痢症
	動物用医薬品危機管理		検査指導	4月～3月	管内一円	7戸・7検体	6戸・6検体	耐性菌実態調査
						1業者・1品目	0業者 0品目 (対象なし)	動物医薬品品質検査
						酪農:77戸	酪農 73戸	動物医薬品使用実態調査
			立入検査	〃	〃	19店舗	0店舗	
			許可更新等	〃	〃	—	許可更新 1件 書換交付 1件	
	地域衛生管理対策	飼養衛生管理基準等の確認	確認指導	4月～3月	管内一円	牛:213戸 豚:23戸	牛:171戸 豚:22戸	
			乳房炎	検査指導	4月～3月	管内一円	154検体	149検体
		会議等		〃	〃	検討会議 1回以上	検討会議 0回	
		幼獣疾病対策	調査指導	4月～3月	管内一円	牛 5戸:豚 5戸 ×4回	牛 5戸:豚 5戸 ×3回	
会議等			〃	〃	検討会議1回以上	検討会議 1回		
養豚繁殖衛生の推進		調査指導	4月～3月	管内一円	豚 5戸×12回	豚 5戸×10回		
		会議等	〃	〃	検討委員会1回以上	検討委員会 1回		
流通飼料対策		検査指導	4月～3月	管内一円	1業者・1品目	1業者 1品目	肉骨粉検査	
					牛:10戸	牛:10戸	立入検査	

2.4 家畜病性鑑定事業

(1) 家畜病性鑑定の状況調べ

(平成25年12月31日現在)

家畜別	病 性 別	受付件数	鑑定済件数	鑑定未済件数
乳用牛	異常産	2	2	
	ウイルス検査	9	9	
	ウイルス遺伝子検査	46	44	2
	飼料検査	1	1	
	病理検査	5	5	
	サーベイランス事業	11	11	
	細菌検査	2	2	
	細菌遺伝子検査	3	3	
	全身性疾患	6	4	2
	小 計	85	81	4
肉用牛	異常産	1	1	
	ウイルス検査	10	10	
	ウイルス遺伝子検査	66	66	
	飼料検査	2	1	1
	病理検査	4	4	
	血液プロファイル	21	19	2
	サーベイランス事業	3	3	
	細菌検査	2	2	
	細菌遺伝子検査	1	1	
	全身性疾患	15	8	7
小 計	125	115	10	
豚	ウイルス検査	2	2	
	ウイルス遺伝子検査	4	4	
	ウイルス抗体検査	3	3	
	サーベイランス事業	2	1	1
	細菌検査	5	5	
	細菌遺伝子検査	11	11	
	全身性疾患	11	11	
	消化器疾患	1	0	1
小 計	39	37	2	
馬	ウイルス抗体検査	4	4	
	小 計	4	4	
鶏	ウイルス遺伝子検査	1	1	
	ウイルス抗体検査	4	4	
	サーベイランス事業	27	27	
	全身性疾患	4	3	1
小 計	36	35	1	
合 計		289	272	17

## (2) 項目別病性鑑定実施状況調べ

(平成25年12月31日現在)

区 分		細菌	ウイルス	寄生虫	生化学	病理	環境保全	その他	計
乳用牛	件数	9	93		3	12			117
	検体数	9	1606		4	12			1631
肉用牛	件数	10	110		24	13			157
	検体数	22	973		226	13			1234
豚	件数	28	23			12			63
	検体数	71	388			30			489
馬	件数		4						4
	検体数		210						210
羊・山羊	件数								
	検体数								
鶏	件数	2	62			3			67
	検体数	2	1010			7			1019
その他	件数								
	検体数								
計	件数	49	292		27	40			408
	検体数	104	4187		230	62			4583

## (3) BSE検査実績

死亡牛検査 346頭 (平成25年12月31日現在)

## 25 意見、要望等

## (1) 業務に関する意見・要望等

なし

## (2) 監査委員事務局に対する要望等

なし



